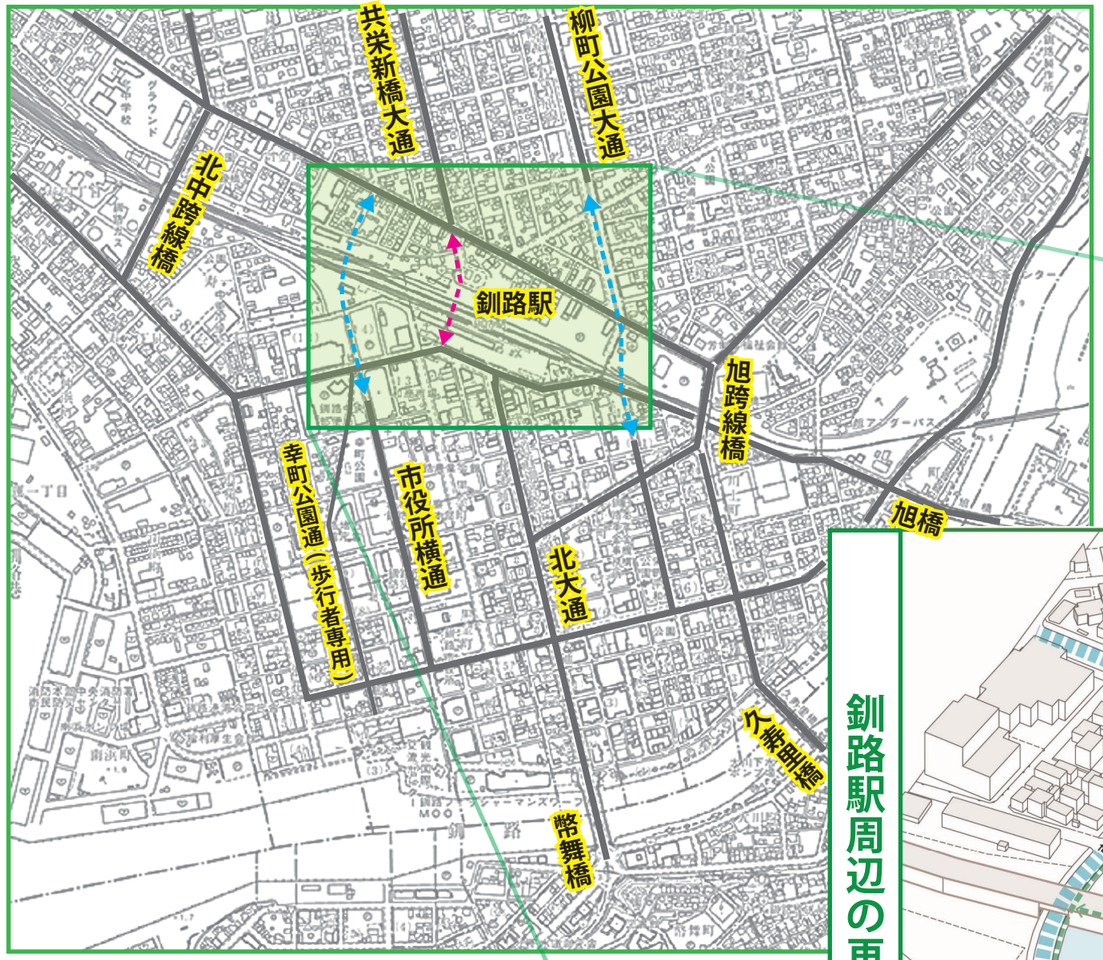
「釧路駅周辺の再整備方針案 たたき台」に関する追加資料（箇所図）について



「釧路駅周辺の再整備方針案
たたき台」で示すエリア

※追加資料の作成理由

令和４年２月定例会、本特別委員会において、「釧路駅周辺の再整備方針案　たたき台」の作成について報告を行ったところであるが、たたき台で示す駅周辺の拡大図の位置が分かりにくく、市民に誤解を与える可能性が考えられるため、本資料（位置図）を追加する。

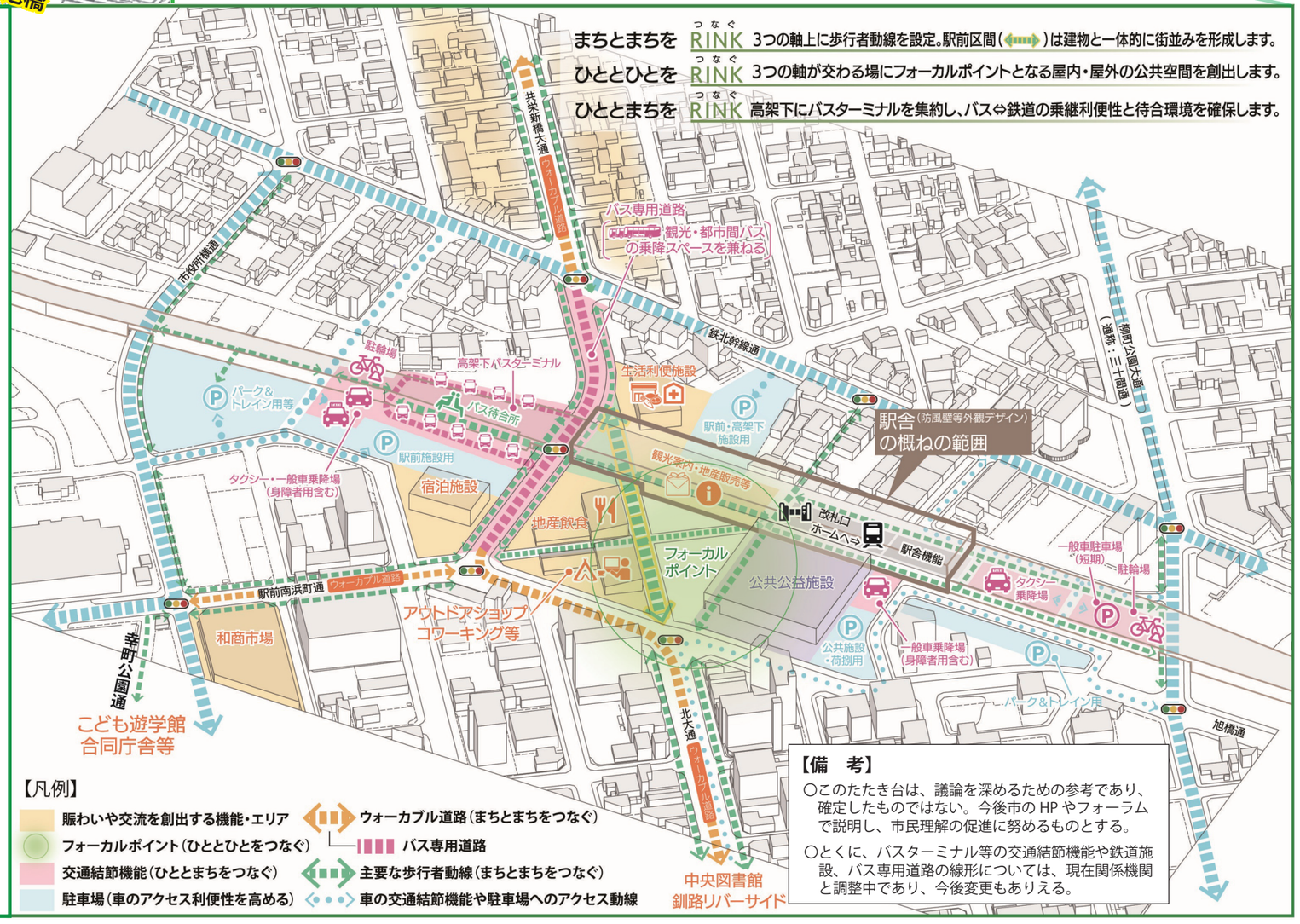
なお、今年度実施する市民説明会等においては、本資料（位置図）を追加して説明することとし、市民理解の促進に努めるものとする。

釧路駅周辺の再整備方針案　たたき台

まちとまちを RINK（つなぐ） 3つの軸上に歩行者動線を設定。駅前区間（⇔）は建物と一体的に街並みを形成します。

ひととひとを RINK（つなぐ） 3つの軸が交わる場にフォーカルポイントとなる屋内・屋外の公共空間を創出します。

ひととまちを RINK（つなぐ） 高架下にバスターミナルを集約し、バス⇔鉄道の乗継利便性と待合環境を確保します。



【凡例】

- 賑わいや交流を創出する機能・エリア
- フォーカルポイント（ひととひとをつなぐ）
- 交通結節機能（ひととまちをつなぐ）
- 駐車場（車のアクセス利便性を高める）
- ウォーカブル道路（まちとまちをつなぐ）
- バス専用道路
- 主要な歩行者動線（まちとまちをつなぐ）
- 車の交通結節機能や駐車場へのアクセス動線

【備　考】

○このたたき台は、議論を深めるための参考であり、確定したものではない。今後市の HP やフォーラムで説明し、市民理解の促進に努めるものとする。

○とくに、バスターミナル等の交通結節機能や鉄道施設、バス専用道路の線形については、現在関係機関と調整中であり、今後変更もありえる。